



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ、わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<http://eli.holy.jp> ●メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

☆主にすべてをゆだねて

宮本 純子



「私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です」

ローマ 1 : 16

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金でエターナル・ラブ・イスラエルの働きを支えてくださり、心から感謝致します。

3月、私はヘブライ語のトラクトを送付してもらうために「ケレン・アハバ・メシヒート」のビクトール・スマジャ師に手紙と献金を送付しました。

1993年から2007年までの14年間、日本のユダヤ人に配布していたヘブライ語のトラクトは、いつもビクトール師から送って頂いていました。

ビクトール・スマジャ師は、イスラエルでは古いメシアニック集会の一つであるメシアニック・アッセンブリー・オブ・エルサレム集会の長老で、「ケレン・アハバ・メシヒート」という文書伝道の創設者です。印刷会社を営みながら

何種類もの伝道トラクトや新約聖書などを印刷製本し、無償で提供してくださっています。

私は、ビクトール師から本当に良くして頂いていました。しかし、10年以上も連絡を取っていませんでしたので、手紙が無事に届くようにと、祈りました。1ヶ月、2ヶ月と過ぎても返事はなく、とにかく祈り続けました。

エターナル・ラブ・イスラエルの働きは、神様が建て直して下さった働きであり、神様がユダヤ人伝道に必要なものはすべて与えてくださると信じて祈り続けました。

そして、手紙を送付してからちょうど3ヶ月が経った日、一通のメールが届きました。それは、ビクトール・スマジャ師の息子のエリー師からでした。私は、ビクトール師が2014年12月24日に天に召されたことを知りました。エリー師は、ビクトール師と共に1982年から働き続けているそうで、私から送られてきた3月付けの手紙を読んで、エターナル・ラブ・イスラエルの働きを知り、とても喜んでくれました。そして、エターナル・ラブ・イスラエルの働きによって日本にいるイスラエル人、ユダヤ人に福音が届けられますように、と、祝福をお祈りして下さいました。

一週間後、たくさんのヘブライ語のトラクトが無事に届きました。神様に心から感謝致します。

神様は、私の手紙を用いてくださり、ビクトール・スマジャ師の後を引き継いだエリー師にエターナル・ラブ・イスラエルの働きを伝え、そしてコンタクトを取れるようにして下さいました。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」伝道者の書3:11

一冊一冊のヘブライ語のトラクトをユダヤ人にお渡しすることが出来ますように。そして、トラクトを主が豊かに用いてくださいますように。ユダヤ人がイエス様と出会い、救われますようお祈りください。

☆手作りのしおり☆



ヘブライ語のトラクトと一緒に喜んで受け取ってもらえるように手作りのしおりを不器用ながらも一生懸命に作っています。手作りのしおりに御言葉を書いてユダヤ人にお渡します。

もし皆さまの中でしおりを作って頂ける方がおられましたら、ぜひとも手作りのしおりをエターナル・ラブ・イスラエルまで送って頂ければ、本当に感謝です。

日本で出会うユダヤ人の方々にヘブライ語のトラクトと一緒に御言葉入りのしおりをお渡しますので、よろしくお願い致します。

☆アート・ミニストリーの働きから☆



第4回あおば美術公募展に入選しました。

あおば美術公募展は、俳優の石坂浩二さんが特別審査員をしています。

私は、今年「鶏鳴」というタイトルの絵を出展しました。期間中は、多くの方が見てくださり、絵の説明をしながら伝道することが出来ました。主に感謝します。

昨年からイスラエルの実際の風景の中に、聖書のシーンを描いています。一枚の絵を描くの一年がかりなので、あと数年はかかると思いますが、「聖地画ポストカード2」として発行したいと祈っています。これは、アート・ミニストリーのビジョンです。

聖地画ポストカードが伝道の道具として用いられることを祈っています。

また、ギャラリーなどで個展を開催するというビジョンもありますので、どうかアート・ミニストリーのためにもお祈りください。

聖地画ポストカードのご注文の際は、同封の振込用紙をお使い頂ければ感謝です。

1セット¥500円ですので、ぜひお買い求めください。よろしくお願い致します。

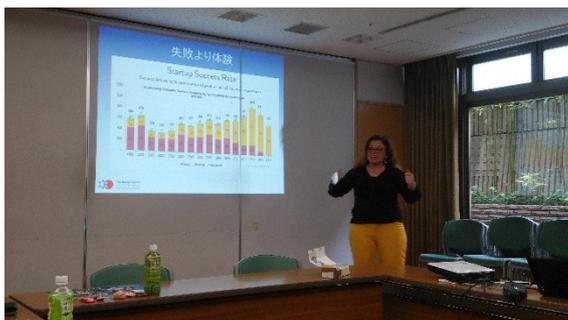
☆イスラエル建国71周年独立記念式典にて☆



去る5月27日、日本イスラエル親善協会主催のイスラエル建国71周年独立記念の夕べが行われました。私は、受付をさせて頂きました。イスラエル大使館の方々や日本に滞在しているイスラエルの方とたくさん出会うことが出来ました。そして、ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使閣下とお話することが出来ました。式典の中で、ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使閣下が、日本とイスラエルの関係は良好で、イスラエルから日本に来る観光客が増えていると、話しておられ

ました。記念式典の後、懇親会でもイスラエル人の方々と親睦を持つことが出来ました。素晴らしい機会を与えてくださった主に心から感謝致します。ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使閣下のために、イスラエル大使館で働いておられるイスラエル人の方々のためにお祈りください。

☆ イスラエルのイノベーションストーリーについて ☆



去る5月、日本イスラエル親善協会&商工会議所 事務局長のソフィア氏による「イスラエルのイノベーションストーリー&企業のビジネスマナー」講習会に出席しました。日本とイスラエルの国全体やビジネスマナーを比較し、それぞれの国の違いを詳しく学びました。「70年前のイスラエルは、砂漠で何もなく、戻る道も何もない状況でした。しかも敵対国に取り囲まれている中で、有るのはユダヤ人の才能と意志のみ。戻る道も何もない中で、自分がどう決心したかが重要であり、その意思決定が大切。」と、語られた言葉が印象に残りました。イスラエルが建国してから70年間で、何もなかった国が、現在、大きな街が増え、近代的な大きなビルが立ち並び、人口も急速に増え、最新技術のある国となったのです。かつて、テオドール・ヘルツェルは、「私は、山も、川も、海もない平原から突然、都市が現われるのを見た。意志の力が都市を形作る証拠だ。最も不利な土地から何を人間が引き出せるかの証明である」と、言葉を残しました。イスラエルの国の回復を見る時、聖書の御言葉の成就と、神様のご計画を見ます。

たかが重要であり、その意思決定が大切。」と、語られた言葉が印象に残りました。イスラエルが建国してから70年間で、何もなかった国が、現在、大きな街が増え、近代的な大きなビルが立ち並び、人口も急速に増え、最新技術のある国となったのです。かつて、テオドール・ヘルツェルは、「私は、山も、川も、海もない平原から突然、都市が現われるのを見た。意志の力が都市を形作る証拠だ。最も不利な土地から何を人間が引き出せるかの証明である」と、言葉を残しました。イスラエルの国の回復を見る時、聖書の御言葉の成就と、神様のご計画を見ます。

☆ 在日ユダヤ人と五旬節、シャブオットの祭りを共にお祝いしました ☆



去る6月9日、ハバッド東京にて、シャブオット「七週の祭り」「収穫祭」「五旬節」をお祝いしました。礼拝の中で、ユダヤ人の子どもたちの劇があり、モーセの十戒が与えられたことを感謝する内容でした。五旬節には、トーラー（律法）が与えられたことを感謝します。礼拝後、美味しいコーシエル（ユダヤ規定）のお料理をたくさん頂きました。

私は、自分がクリスチャンであることを彼らに話して親睦を持っています。彼らは、クリスチャンと知っても私のことを受け入れてくれています。主に心から感謝致します。どうか、彼らが旧約聖書だけでなく、新約聖書も読むことが出来ますように。イエス様を信じる事が出来ますようにお祈りください。

☆ 中東(和平プロセスと日本の役割)について ☆



去る6月、日本ユダヤ教団にて開催された、日本イスラエル親善協会主催「中東～和平プロセスと日本の役割～」講師：池田明史教授（東洋英和女学院大学学長）の講演会に出席しました。「お互いに相手を信じていないイスラエルとパレスチナ自治政府の徹底的な相互不信を緩和できるか。パレスチナ自治政府の機能不全を補修し、その自壊を防止できるか。当事者双方及び国際社会の三極に存在する『認識のギャップ』をどのように埋めるのか。日本の果たすべき役割は、現時点では従来の財政支援、技術支援以上には出来ることは少ない。」と、語られました。

また、「イスラエルの右傾化をもたらした要因は何であろうか。その最大の背景は、1993年以来のパレスチナとの和平プロセスが、完全に破綻したところに求められるのは間違いない。交渉相手であるパレスチナ側とは、第二次インティファダ以降激しい暴力の応酬が続き、和平推進を唱えようにも誰と交渉していいのかがわからなくなり、交渉を続けることへの疑義が拡大した」と、語られました。

どうかイスラエルとパレスチナとの和平プロセスのためにお祈りください。

☆祈りのリクエスト☆



「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

●神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。

●トランプ大統領、ネタニヤフ首相はじめ、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。

●イスラエルと日本の政治・文化、あらゆる面で交流が祝福されますように。

●イスラエルに対するあらゆる攻撃、又、テロ等が起こらない様にお守りください。

●イスラエルの周辺諸国との関係のために。シリア、ヨルダン、エジプト、イラン、イラク、トルコ、レバノンなどの各国との関係を神様が最善に導いてくださいますように。

●パレスチナ問題のために。和平プロセスを神様が最善に導いてくださいますように。

●フランス、イギリス等は、反ユダヤ主義の動きが強まっていますが、正しい聖書理解の上に立ち、ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなります様に。又、国連とEUが真に公正、公平な機関になります様に。

●世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。

●イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。

●在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。

●日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆2019 年秋のユダヤの祭り☆



●9月30日、10月1日 ※ユダヤ新年 ローシュ・ハシヤナ

ティシュレ月1日。ユダヤ暦新年は西暦の9月から始まる。ユダヤ暦5780年を迎えます。ティシュレ月1日。神が天地創造を行なったことを記念。新年を祝い、魚のお頭や「甘い年となりますように。」と、林檎にハチミツをかけて食する。

●10月9日 ※贖罪の日 ヨム・キプール

ユダヤ教徒は新年ローシュ・ハシヤナから10日間懺悔をし、10日目のヨム・キプールは断食をして一年間の罪を悔い改める。イスラエルで最も重要な日で全ての施設が休み。

●10月14日～20日 ※仮庵祭 ハグ・ハスコット

イスラエルの民が出エジプト後8日間仮庵住まいだったことを偲ぶため、仮庵の家を建てて食事をする。秋の収穫を祝う意味もある。初日のみ全ての施設が休み。

●10月22日 ※律法の歓喜祭 シムハット・トーラー

ユダヤ人は毎週1節ずつトーラー(モーセ五書)を読み、1年間で読了する。次年度また創世記から読み始めるにあたり、トーラーに感謝し、読了を祝う。

2019年8月 夏号発行